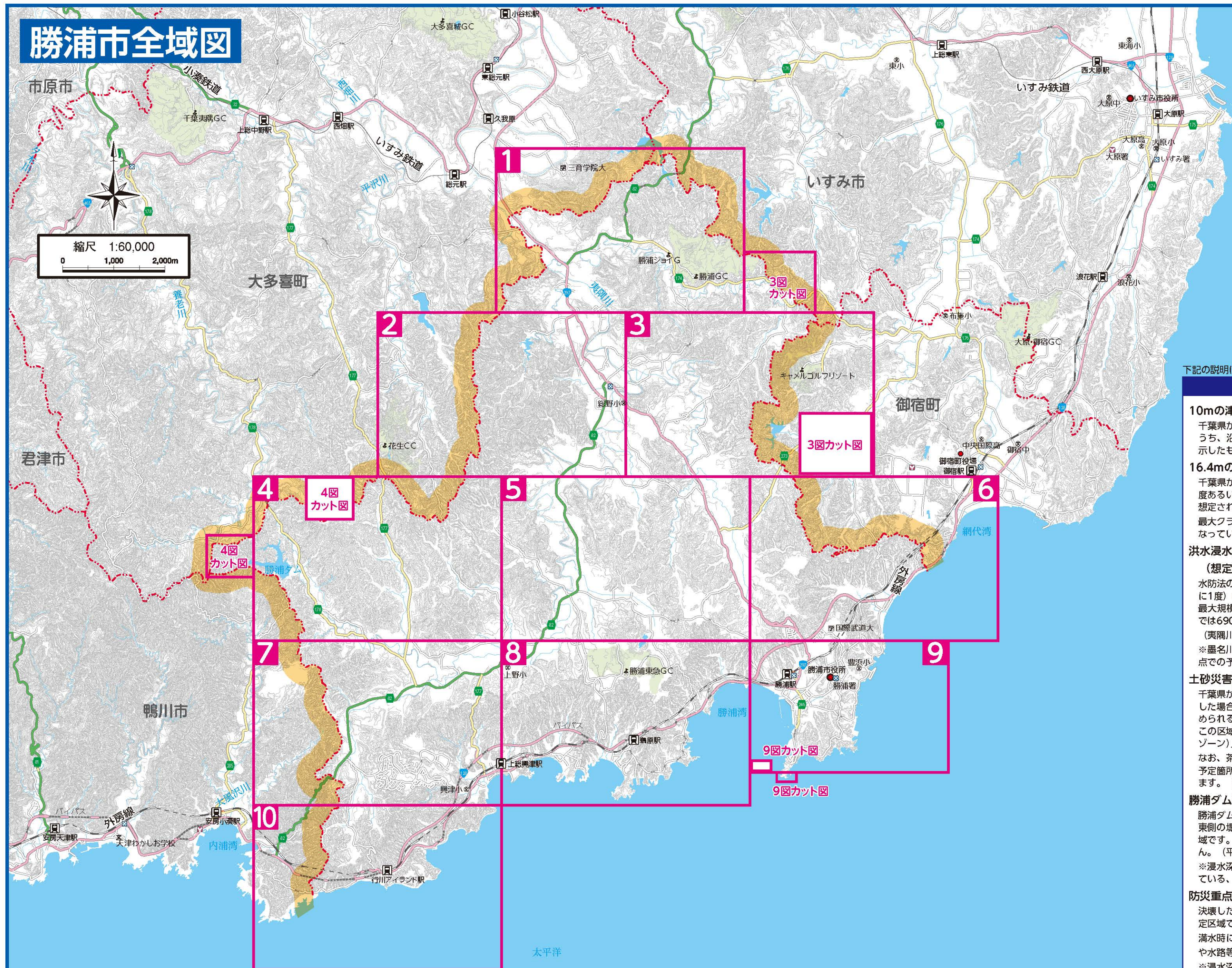


勝浦市全域図



下記の説明は、P13～32（エリア図1～10）に掲載の凡例説明となります。

各災害想定凡例説明

10mの津波浸水想定区域……

千葉県が実施した「平成23年度東日本大震災千葉県津波調査業務」のうち、沿岸に10m程度の津波が襲来した場合に予想される浸水区域を示したものです。（平成24年3月 千葉県作成）

16.4mの津波浸水想定区域……

千葉県が「津波防災地域づくりに関する法律」に基づき、1000年に1度あるいはもっと発生頻度が低いものの、過去に発生した津波や発生が想定される津波を設定したものです。

最大クラスの津波が、悪条件下で発生した場合に想定される浸水区域となっています。（平成30年11月 千葉県作成）

洪水浸水想定区域

（想定最大規模）…… 水防法の規定により、千葉県が指定した想定しうる最大規模（1000年に1度）の降雨により浸水した場合の水深を表しています。想定しうる最大規模とは、24時間総雨量が夷隅川流域では617.0mm、墨名川流域では690.0mmとなる場合を想定しています。

（夷隅川：令和2年5月 墨名川：令和4年3月 千葉県作成）

※墨名川洪水浸水想定区域図の作成年月については、令和3年12月末時点での予定

土砂災害警戒区域……

千葉県が「土砂災害防止法」に基づき指定した区域で、土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

この区域には危険度に応じて2種類の区域があり、「警戒区域（イエローゾーン）」「特別警戒区域（レッドゾーン）」に区分されています。

なお、茶色斜線の区域は、新たに危険箇所として抽出された「基礎調査予定箇所」であり、土砂災害警戒区域の指定に向け調査を予定しております。（令和3年5月 千葉県作成）

勝浦ダム浸水予定区域……

勝浦ダムの水位を満水、決壊箇所を最も被害が大きいと考えられるダム東側の堤体に設定し、一度に堤防が決壊した場合を想定した浸水予定区域です。大雨などによる周辺の河川や水路等の氾濫等は考慮していません。（平成26年3月 勝浦市作成）

※浸水深、到達時間等の詳細につきましては、市のホームページに掲載している、『勝浦ダムハザードマップ』をご覧ください。

防災重点農業用ため池決壊浸水想定区域……

決壊した場合に家屋や住民に被害を与えるおそれのあるため池の浸水想定区域です。

満水時に堤防が決壊した場合の被害であり、大雨などによる周辺の河川や水路等の氾濫等は考慮していません。（令和3年3月 勝浦市作成）

※浸水深、流速等の詳細につきましては、市のホームページに掲載している、各『ため池ハザードマップ』をご覧ください。

※いずれの災害も、想定した区域に到達しない、もしくは想定した区域を超えて被害を及ぼす場合があります。